

台間ボードの「悩み」をすべて解決!

台間収納型 パーテーションボード **トリプル&ハーフボード**(SHORTタイプ)

「ホールの業務効率」と「遊技客の快適性」を限界まで追求——
これ以上ない「究極のボード」はこれだ!

「台間」に特化したパチンコホール用設備機器の分野でヒット作を次々に生み出している(株)ゼウス(東京都墨田区)。新たに、「究極の台間ボード」と呼ぶにふさわしい「トリプル&ハーフボード(SHORTタイプ)」に大きく注目したい。

パチンコホールの感染対策として、もはや「基本中の基本の設備」となった台間ボード。ゼウスは、長年にわたって台間ボードを手掛けてきたノウハウをもとに、コロナ禍以降も数々の台間ボードをリリースしてきた。

究極の台間ボード 押しポイントは3つ

その数あるラインナップの中でも「ニューノーマル時代の究極ボード」と呼ぶにふさわしいのが、台間収納型の「下

リプル&ハーフボード(SHORTタイプ)だ。「究極」と呼べる理由として、以下3つの押しポイントが挙げられる。

①台間ボード収納時の出幅は「わずか30mm」を実現
 台間ボードの課題として指摘されていたのが、台の開閉時や入替作業時にボードに干渉し、作業のジャマになったり傷つけてしまう可能性があることだった。同製品では収納時のボードの出幅を「わずか30mm」とし、そうした不安の解消を実現した。

②三段式(トリプル)で出幅最大「515mm」を実現
 飛沫対策として望ましいボードの出幅は一般的に500mmといわれるなか、三段式によって「最大515mm」を確保。簡易的ではない、適正な感染対策を実行できる。

このほか、標準仕様としてスマホ・加熱式タバコの充電に最適な急速充電3.0A対応の「USBチャージャー」と、「POP収納スペース」を搭載しているのも魅力。さらに、国内の自社工場生産しているゼウスならではの強みとして、必要に応じて「ドリンクホルダー」などを追加したり、一部サイズの変更に対応できるのも見逃せないポイントだ。



ボード高を縮めたことでイスの肘置き等が干渉しない構造を実現している。



遊技客の快適性を向上させる「POP収納スペース」「USBチャージャー」。

③ボードの下部をカットしたハーフ仕様
 ①の課題と並び台間ボードのもうひとつの課題だったのが、台間幅の狭いホールなどで遊技客が離着席をする際、体が当たってしまったったり肘置きが干渉してしまうことだった。同製品はボード高の下部をカットして縮めたことで、離着席時の不便さを解消する。

USB・POP収納 十オ리지ナル仕様も

このほか、標準仕様としてスマホ・加熱式タバコの充電に最適な急速充電3.0A対応の「USBチャージャー」と、「POP収納スペース」を搭載しているのも魅力。さらに、国内の自社工場生産しているゼウスならではの強みとして、必要に応じて「ドリンクホルダー」などを追加したり、一部サイズの変更に対応できるのも見逃せないポイントだ。

悩み②

飛沫対策をちゃんとできる出幅にしたい

三段式(トリプル)で「出幅最大515mm」を実現!



【視覚での安心感】
 ・POP収納有り: 50mm巾
 ・POP収納無し: 40mm巾

悩み①

台の開閉時や入替時のジャマになる

ボード収納時「出幅わずか30mm」で干渉しづらい!

【上から見たイメージ】



悩み③

離着席時に肘置きなどがボードに当たってしまう

ボード下部カット(ハーフ)で快適性を向上!



台間収納型 パーテーションボード

トリプル&ハーフボード

「SHORTタイプ」

